



2009-2010 年度



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 2690 地区ガバナー 葛尾 信弘

「ロータリーは地域と共に」

**平田ロータリークラブ 事務局**  
 〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
 Tel : 0853-63-3232 / Fax : 63-5365 / IP : 050-5204-5816  
 URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
**A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局**

会長 / 高砂 明弘      副会長 / 加藤 昇  
 幹事 / 小村 益造      会計 / 伊藤 義徳

**例会プログラム**

例会日	卓話者	演題
10月8日	職業奉仕委員長 石原 輝男	ロータリーの歴史と職業奉仕
10月15日	会員 福田磨寿穂	国土調査について
10月22日	夜間例会	ホテルほり江 18:30 ~

**出席報告**

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
36	28	8 (2)	82.35 %	94.11 %

**欠席者**

園 / 園山 / 堀江 / 飯塚大 / 加藤喜 / 大島治 (石原恵 / 山根)

**来訪者**

なし

**メークアップ**

なし

**次回例会受付当番**

- (10月15日) 杉原朋之 / 大島 治 / 大島卓爾
- (10月22日) 清原正幸 / 大谷 孝 / 佐々木哲也

**近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)**

(出雲) (松江) **赤文字 例会変更**

月	出雲中央RC	月	松江南RC 10/26 11/2
火	出雲RC 10/13	火	松江しんじ湖RC 10/27
水	大社RC 10/21 10/28	水	松江RC
		木	松江東RC 10/22(休)
金	出雲南 10/16 10/30(休)		

**会長挨拶**

先日は、田中・飯塚 両会員 一畑の杜コンサート 大成功裡に終り、ごろうさまでした。久々に本物の音楽を聞くことが出来ました。当日は中秋の名月。すばらしいシチュエーションで最高の秋の夜長を過ごすことが出来ました。

すこし前ですが、奈良市の市長さんが市議会本会議中に、ガムやアメを口にしながら答弁をしたそうです。

議会終了後に、議長さんに注意された様です。市長さんは“ のどをうるおすためだった”と、謝罪したという。

33 才の市長さん。期待されての当選、若い市長さんのこと。失敗もあるかと思いますが、あまりにも常識がなさそうに思います。初議会で緊張したかもしれません。

我々も人の前に入る時は十分注意をしたいものです。いつも初心忘れるべからず。

**幹事報告**

1. 例会変更

出雲 RC 10/13(火) 職場訪問例会 1230~ 於) 出雲市役所  
 ビジター受付 11:30 ~ 12:30 ホテル 武志山荘

2. 地区大会について

10/18 9時 商工会議所を出発しますので時間厳守でご集合下さい。

**スマイル**

**高砂** (田中浩史、飯塚大幸会員 一畑の杜コンサート大成功でおめでとうございます。中秋の名月 ひとときすばらしい音楽にふれました。ありがとうございました。)

**河原** (この前の職場訪問例会に欠席し、会長すみません。喜寿の会がありましたので・・・)

**田中浩** (10/3 の一畑の杜コンサートには RC の会員の方々もたくさんご来場いただきありがとうございました。天候にも恵まれ成功裡に終わりました。)

**福田** (10月4日に7人目の孫が生まれました。)

**スピーチ・例会行事**

「ロータリーの歴史と職業奉仕」 職業奉仕委員長 石原 輝男

<ロータリーの始まりと基本ルール>

資本主義の嵐が吹き荒れていたシカゴの街で、弱小実業人と専門職業人の助け合い運動から出発し、最初は仲間内だけのエゴイズムな団体であった。1905年2月23日に集まった最初の仲間は、ポール・ハリス(弁護士)、シルベスター・シール(石炭商)、ガスターバス・ロア(鉱山技師)、ハイラム・ショーレー(洋服屋)。2週間後に2名が参加し、さらに2週間後に3名が加わり、計9名になったところで、ポールは「機は熟した。」と言って、初代会長にシルベスター・シールを選任し、規約を作成し、ロータリークラブと命名した。

最初のクラブ定款は「1. 会員の職業上の利益の増大。 2. 社交クラブに付随する親睦。」の2カ条のみ。

基本ルールは「一業一会員制」と「例会出席の強制」の原則。

その後、「3. シカゴ市の利益を推進し、市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること。」が付け加えられ、ここに初めて奉仕理念が芽生えた。

<職業奉仕理念と社会奉仕理念の確立と対立そして調和へ>

1911年の第2回全米ロータリークラブ連合会で「Service Not self」を発表。1913年の国際ロータリークラブ連合会第2回大会で提案され2年間かけてまとめた「ロータリーの道徳律」が1915年のサンフランシスコ大会で「全分野の職業人を対象とするロータリー道徳律」として正式採択された。翌1916年に「ロータリー通解」に収録、配布され、「自己の職業倫理を高めることが他者への分かち合いにつながる。」という個人奉仕理念が強調された。

ロータリーの職業奉仕論や社会奉仕論は「利己と利他の調和の原則すなわち奉仕の理想の哲学を自己の職業に適用し、他人のために倫理に沿った職業を営むこと、すなわち自己と自己の企業の倫理性を高めていくことが、結果的に企業の安定的かつ持続的な利潤を確保していくことにつながるのだ」という因縁論の世界である。

<職業奉仕論は商売の極意論>

ロータリーの職業奉仕論は「商売の極意論」です。「満足」という商品売り、「感謝」という対価を受け取る。「真実」という商品売り、「信用」という対価を受け取る。これが商売の極意です。

<ハーバート・テラーの「四つのテスト」>

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか